

## 聖火を持つ人々のそれぞれの思い!

### ●間もなく春日部市でも聖火が訪れます!

先週、尾谷英一さん(株)ニューオタニ社長)から「尾谷英一17才」と1枚の写真が送られてきました。



「聖火を掲げ。前の東京オリンピックの写真が見つかりました、聖火ランナーに伴奏者10人くらいで3、4KM 走りました、本当のリレーです、今回はリレーではないと思います」とのコメントがありました。

先日の「経営革新塾しよう会/6月例会」に参加された尾谷さんにお話を伺うと、新潟県出身の尾谷さんは高校時代にクロスカントリーをなさっていたそうで、日頃から山道で足腰を鍛えていたこともあり、顧問の先生から「聖火ランナーをやらないか」との声がかかり引き受けられたそうです。聖火を持って走る人に伴奏者が10人くらいいて、3~4キロをみんなで走って町から町へと聖火を繋ぐものだったそうです。「沿道には見物人がいたと思うのですが、新潟の山間地だったのでパラパラだったのではなかったかなあ」とのこと。今回のように、「沿道での見物はできるだけ密にならないようにお願いします」というのはだいぶ違っていたようですね。

さて、3月25日に福島県のサッカー施設「Jヴィレッジ」をスタートして、47都道府県を121日間を回る予定だそうです、現在は岩手県内を回っているそうです。



[写真は、読売新聞「聖火リレー写真速報」より引用]

埼玉県内は7月6日から8日の3日間にわたり各地で聖火リレーが行われるそうで、ホームページに聖火ランナーの記事が出ています。

<https://www.pref.saitama.lg.jp/oly-para/events/torchbearer/otr-pjt/intro/>

春日部市は7月7日にお二人のランナーが走ります。

### ◆聖火リレーを通じて、人と人がつながる喜びを伝えたい【春日部市】嶋先 麻美(しまさきあさみ)さん



春日部共栄高校の体育教諭でバスケットボール部顧問を務める嶋先麻美さん。聖火ランナーになろうと思ったのには、生徒

たちのオリンピックへの関心を高めたいという気持ちがあったそう。知らない者同士がつかないでいく聖火が、開会式で一気に燃え上がる姿が楽しみだと語ります。

#### —生徒にどのような聖火ランナーの姿を見せたいですか?

聖火リレーは「つなぐ」ことがキーワードです。知らない人同士がつかない聖火が、開会式で一気に燃え上がり、興奮が高まります。最初は「先生が聖火持って走るんだって」という軽い気持ちで見てもらうだけで良いのですが、後で開会式のセレモニーを見て「先生がああ聖火を持って走っていたんだ!」と盛り上がってくれたら嬉しいです。聖火リレーが終わった後、桜のトーチは学校に飾りたい(※)と思います。考えたらワクワクしてきます。(※)聖火ランナーには、聖火トーチを購入する権利が付与されます。

### ◆百畳サイズの大凧で、オリンピックを盛り上げたい【春日部市】石原 保(いしはらたもつ)さん



毎年5月に行われる「春日部大凧あげ祭り」に長年尽力してきた「庄和大凧文化保存会」の凧師・石原保さん。生まれつきの

関節症不全のため、2019年7月に人工関節の手術を経験しました。体を引き締めて大凧あげも聖火ランナーも本番に向けて準備をしています。

#### —聖火リレー当日は、どんな気持ちで走りたいですか?

大凧は一人ではあげられない、皆であげるものです。それと同じように、聖火リレーも皆でトーチを持っている気持ちで走りたいです。自分が走ることで春日部大凧あげ祭りをPRするほか、大凧で東京オリンピックや聖火リレーを盛り上げていきたいです。

<https://www.pref.saitama.lg.jp/oly-para/events/torchbearer/otr-pjt/intro/36.html>



お二人にとっても、尾谷さんのように良い思い出が残ることを祈ります。全国のリレー走者は約1000人、1000の思い出が素敵なものでありますように!